



県内経済の動き

概況

〔3月～5月の動き〕

一部に持ち直しの兆しがうかがえる。

生産活動は一進一退の動き。大型小売店の総販売額（4月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年を上回った。乗用車の販売台数（4月 軽自動車を含む）は、11カ月連続で前年比減少したが、新設住宅着工戸数（4月）は14カ月ぶりに前年比増加した。公共工事（4月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年を下回り、輸出額（4月 細島港）は5カ月連続で前年比増加した。有効求人倍率（4月：0.99倍）は前月比0.01ポイント上昇した。

県内経済は、不透明感が残るものの、一部に緩やかな持ち直しの兆しがうかがえる。

（黒木）